九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

アジア市民社会公開シンポジウム : 北東アジアにおける市民社会の展開

大賀, 哲
九州大学大学院法学研究院准教授

https://doi.org/10.15017/19487

出版情報：政治研究. 57, pp.95-96, 2010-03-31. 九州大学法学部政治研究室
バージョン：
権利関係：

シンポジウムの記録

アジア市民社会公開シンポジウム――北東アジアにおける市民社会の展開――

大賀　哲

＊

第二回　アジア市民社会公開シンポジウム

【主催】九州大学大学院法学研究院リサーチコア「アジア市民社会の基盤的研究」

【共催】九州大学政治研究会・九州法政学会

【日時】二〇〇九年一一月三日（火・祝）於・九州大学法学部

【プログラム】

導入　大賀哲（九州大学）「アジア市民社会論の構想」

部会Ⅰ　九州と市民社会

報告　渡邉智明（九州大学）「地域からアジア市民社会への眼差し―九州の国際協力ＮＧＯ活動から」

報告　土肥勲嗣（九州大学）「地域からの思想―松下竜一を中心として」

基調講演　孫歌（中国社会科学院）「日中市民社会の紐帯」

部会Ⅱ　アジア市民社会の歴史的展開

報告　與那覇潤（愛知県立大学）「中国化する公共圏？――東アジア史から見た市民社会論」

報告　李弘杓（九州大学）「日中の市民社会と歴史認識」

部会Ⅲ　市民と市民社会―韓国と台湾の比較

報告　浅羽祐樹（山口県立大学）「『悪しき市民』と立憲主義アイデンティティ―韓国における民主化と民主主義体制の持続と憲法」

報告　松本充豊（長崎外国語大学）「台湾における民主主義の持続と市民社会」

【参加者】

浅羽祐樹、江本佳菜子、大賀哲、甲斐将也、鹿子生浩輝、呉博宇、小林悠太、崔俊、白石菜穂美、徐涛、孫歌、田中良太、鄒建萍、土肥勲嗣、堀幸司、増永稔、松本充豊、三井哲、與那覇潤、李弘杓、渡邉智明（以上二一名）

昨年度に引き続き、九州大学大学院法学研究院リサーチコア「アジア市民社会の基盤的研究」の研究活動の一環として、シンポジウム「北東アジアにおける市民社会の展開」を開催した。今回は中国社会科学院より孫歌氏をお招きし、主として北東アジア（日本・中国・韓国・台湾）における市民社会の展開をテーマとした研究報告、ディスカッションを行なった。

まず冒頭で大賀哲より「アジア市民社会論」を研究することの意義について問題提起がなされ、それぞれの部会についての簡単な概要が説明された。部会Ⅰでは、渡邉報告と土肥報告がそれぞれＮＧＯ活動と地域思想の観点から、九州における市民社会の展開を報告した。次いで昼食をはさんで、基調講演が行なわれた。この孫歌講演では中国における市民社会の現況が紹介され、それを踏まえた上で日中及びアジアの市民社会についての鋭い問題提起が為された。部会Ⅱでは與那覇報告が中国の公共圏形成を事例にアジアからみた市民社会論についての示唆を提起し、李報告が主として近年の中国における民主主義や市民社会の動向を報告した。また部会Ⅲでは浅羽報告が韓国、松本報告が台湾における市民社会の展開をそれぞれ民主化・民主主義との関係において考察した。

時間的制約はあったが、いずれのセッションもフロアからの活発な議論に支えられ、盛況であった。また、研究者だけでなく社会人や学部生・大学院生も参加し、非常に多様な観点から討議がなされた。本年度の成果を踏まえ、次年度以降も本シンポジウムを継続して行なっていく予定である。なお本シンポジウムは九州大学政治研究会、九州法政学会との共催の下に開催され、その運営にあたっては（財）学術振興野村基金より講演会助成を受けた。関係各位に深謝する次第である。

（文責　大賀哲）